
所 属 : 芸術学部 理論系

職・氏名 : 准教授 石松 紀子

研究キーワード : 現代美術、文化研究、ポストコロニアリズム、イギリス、
東南アジア

■研究テーマ

① テーマ：東南アジアの現代美術

概要：東南アジアの中でも、特に以前イギリス統治下にあったマレーシアの現代美術について研究しています。東南アジア諸国の多くは、植民地政策のもと近代化が進められ、欧米の美術を受容しながら自国の美術を生成してきました。戦後まもなくして、被植民地諸国は独立を果たしますが、美術史の形成や近・現代美術の研究については、今後より発展していく段階にあります。調査対象を東南アジア地域に広げながら、同地域の美術史や美術言説に寄与する研究調査を行います。

② テーマ：イギリスの現代美術

概要：アジア、アフリカ、カリブ諸国に出自をもち、イギリスを拠点に活動する美術作家たちに注目して、現代美術をとりまく状況について研究しています。冷戦構造が終結し、世界的にグローバル化が加速するにつれ、それまでほとんど発表する機会がなく周縁的な存在であったアジア・アフリカ系美術作家たちの活動の場は急速に広がっています。一方で、欧米を中心とする美術や美術言説において、これらの作家たちの活動は、美術よりも文化的な文脈において理解される傾向にあるため、そのような美術の枠組みを考察・検討しています。

■研究テーマの応用例

美術館やギャラリーにおける展覧会や地域連携型のアートプロジェクトの実施に際して、企画や美術作家と市民・学生との交流のサポートを行います。また、国内外の美術作家や研究者との共同研究調査やプロジェクトにおいても、企画や実施を協働することができます。

■主な著書

石松紀子『イギリスにみる美術の現在—抵抗から開かれたモダニズムへ』花書院（2015年）

■想定される連携先

- ・地域団体
- ・地方自治体
- ・公的研究機関
- ・教育機関
- ・NPO／NGO